

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|----------------|
| 事業所番号 | 3890100666 |
| 法人名 | 有限会社やわらぎ |
| 事業所名 | グループホームいくし |
| 所在地 | 愛媛県松山市生石町472番地 |
| 自己評価作成日 | 平成28年10月26日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成28年11月10日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|---|
| <p>「利用者の日常に笑顔と笑い声を増やしていく」という目標のもと、イキイキ・ワクワクした生活が送れるように職員一同努力している。 家族の協力を得ながら、グループホームで利用者が安心して生活できる環境作り 季節を感じながら、生活できる環境作り</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| <p>職員の得意なことを活かして利用者の笑顔を引き出すことに取り組んでおり、ある職員は、壁面飾りを季節ごとに考えて利用者と一緒に作ったり、楽器演奏等をして歌を歌うような場面を作っている。家族アンケート結果(有効回答)では、「職員がいきいきと働いているように見える」と答えた家族が多かった。 職員の防災意識を高めることを目的に、法人で作成したマニュアルに沿って毎朝申し送り時に「3分間研修」として、防災について勉強する取り組みを行っている。そのことがきっかけで、職員から「備蓄係」を作って備蓄の管理をしてはどうかと提案があり、係を設置した。</p> |
|--|

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|---|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名 グループホームいくし

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

仙波 美江

評価完了日

平成28年10月26日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|--|---|-------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | (自己評価) 事業所の理念として、地域との関わりを掲げているが、その点に関しては、夏祭りや運営推進会議のみの単発的なものだけになっている。今年目標として「利用者の日常に笑顔と笑い声を増やしていく」事に関しては理念のイキイキ・ワクワクした生活に繋げていこうと努めている。 | |
| | | | (外部評価) 法人では、理念に沿ったケアが実践できたか点検するために「振り返りシート」を作成しており、施設長が面談して達成状況等について話し合っており、理念の実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | (自己評価) 夏祭りや運営推進会議のみの関わりになっている。建物の構造的にもなかなか足を運んで頂きにくい。 | |
| | | | (外部評価) 敷地内にある系列小規模多機能事業所と合同で夏祭りやいもたき会等を行い、地域の方と交流しているが、事業所単独での地域とのつながりは少ない現状にある。利用者の希望に沿って、近くにあるパン屋やコンビニを利用している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価) 運営推進会議で利用者の日々の暮らしや成年後見制度等についての説明をしている。 | |
| | | | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議で活動報告は行っているが、報告のみになっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、敷地内にある系列小規模多機能事業所で、合同で行っている。事業所からは、利用者の状況や活動状況を月ごとに写真印刷してまとめたものを見てもらいながら、報告している。管理者は今後、職員も会議に参加して地域の方に顔を覚えてもらいたいと話していた。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議で松山市の方と関わりを持っている。また今年の11月から松山市社協の介護相談業務を月に2回程度お願いしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>今年11月から介護相談員を受け入れている。運営推進会議時には、市の担当者や地域包括支援センターの担当者が参加しており、事業所の活動報告等を聞いてくれている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>(自己評価)</p> <p>日中は玄関の施錠はしていない。ベッド柵に関しては転落の危険性のある利用者の家族に毎月同意書を頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在、2名の利用者はベッドからの転落の危険があるため、4点柵を付けて対処している。ベッド柵の付け外しを記録しており、利用者の状況を見ながら職員で話し合い、柵を外す時間をつくっている。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|---|
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 運営推進会議等で虐待について話し合い、防止に努めているが、定期的な勉強会も必要である。 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 運営推進会議や事業所の研修で勉強会を行った。必要と思われる利用者の方には、今後利用していきたい。 | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時に、利用者また家族と話し合い、理解頂いている。 | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 運営推進会議に参加頂いて意見を述べてもらったり、面会時に近況報告を行い、話しやすい環境作りに努めている。 (外部評価) いもたき会や行事としての外出、忘年会を行う際には、家族に案内している。数名の家族が参加しており、利用者と一緒に過ごしたり、家族同士の交流の機会になっている。6月に管理者交代があり、ハガキ等で知らせた。 | 外部評価実施に際しての家族アンケート結果をもとにして、家族の立場から、報告のあり方等、日頃の取り組みを点検してみてもうだろうか。又、家族のことを思う利用者が多いことから、家族と認知症について学ぶ機会や一緒に活動する機会を工夫して、共に利用者の笑顔を引き出せるような取り組みにつなげてほしい。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>個別面談やスタッフ会で職員の意見や提案を聞く機会はある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>施設長が年1回職員と面談を行っている。職員が45分間の休憩時間を確保できるように取り組んでいる。職員は、外部研修を受講する機会は少なく、法人内研修は年1～2回、個々に興味のある内容について受講することになっている。職員の得意なことを活かして利用者の笑顔を引き出すことに取り組んでおり、ある職員は、壁面飾りを季節ごとに考えて利用者と一緒に作ったり、楽器演奏等をして歌を歌うような場面を作っている。家族アンケート結果(有効回答)では、「職員がいきいきと働いているように見える」と答えた家族が多かった。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>残業が殆どなく、休憩時間もしっかり取れる環境ではある。職員がやりがいや向上心を持てる環境作りのため昇給を行ったりしているが、全て満足できる状況ではない。</p> | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>法人内の年間の研修計画の中から興味のある研修を選び、全職員が受けている。また外部の研修にも勤務時間内に行けるようにしている。</p> | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>法人内の他事業所の方と研修で交流したり、利用者と一緒に他事業所を訪問する事もある。</p> | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>面会時に本人と話す機会を持ち、不安や要望をお聞きして、安心して頂けるように努めている。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) | |
| | | | 面談の段階からしっかり聞き取りを行い、話しやすい関係づくりに努めている。 | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) | |
| | | | サービス開始時には、他のサービスを利用したケースはないが、サービスを行いながら、徐々に本人に必要な支援を見極めている。 | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) | |
| | | | 洗濯物を畳んでもらったり、掃除機をかけてもらったりとその方の出来る事を見極めて、役割を持って頂くようにしている。 | |
| 19 | | ○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) | |
| | | | ご家族の方に行事に参加して頂いたり、散髪の上手なご家族には定期的に散髪をして頂いたり、できる限り関わりを持って頂くようにしている。 | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) | |
| | | | 以前いた施設の仲の良い方と会えるように訪ねて行ったりした。、遠方にお住まいのご家族の方には日頃の様子が分かるように写真を送ったりしている。またご家族等が訪ねて来やすい雰囲気作りに努めている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 外出希望等があれば、ご家族にご本人の意向や気持ちを伝えるようにしている。退居して法人内施設に移った仲良しの方に会いに行く機会を作っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|---|--|---|
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 利用者同士の関係を見ながら、その時の状況で席を移動するようにしている。毎日一定量の水分摂取が必要な方が頑張っている様子を見て、周囲の利用者が「頑張っている」と応援したり、飲み干すと拍手したり、みんなで支え合える環境を作れるように努めている。 | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) サービス利用終了後、相談や支援をした事はないが、必要とされれば応じる事は可能である。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) ケアプラン作成時に本人の意向を伺っている。また日々の会話からも意向を把握しようと努めている。本人の意向の聞き取りが困難な場合、日々の様子から思いを汲み取ろうと努めている。 (外部評価) | 本人主体の生活支援、又、「利用者の日常に笑顔と笑い声を増やしていく」という目標の実践に向けて、利用者個々の思いや意向の把握に力を入れて取り組んでほしい。把握が困難な場合や不確かな場合についても、本人にかかわる方からの情報等も得ながら話し合いを重ね、支援に配慮や工夫をしてほしい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 入居時にご家族の方にセンター方式シートに記入頂き、全職員で把握しようとしている。また入居後の会話からも情報を引き出そうと努めている。 | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 一人ひとりに合った生活のリズムを大切にしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価) 本人やご家族の意向を伺った上でカンファレンスを行い、意向に沿った介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 家族には、来訪時に日常の様子を報告して利用者のケアや暮らしについて意見や要望を聞くが、「お任せします」「前と同じで」と言われることが多い。介護計画は、毎月、担当者がモニタリングを行い、カンファレンスで話し合い、3ヶ月ごとの見直しにつなげている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>(自己評価) 日々の様子は個別の介護記録に記入し、毎日の申し送りやスタッフ会で情報を共有している。それにより、ケアの仕方を改善したり、介護計画も見直している。</p> | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) ご家族の意向をお聞きした上で、こちらからその方に合った訪問診療を提案したり、訪問マッサージを行っている方もいる。また本人やご家族のニーズを考慮して、生活保護の申請を行った事もある。</p> | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>(自己評価) 買い物希望の方には、近くのコンビニに出掛けたりしているが、地域資源を上手く活用できていない。</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>本人の状況やご家族の希望等により、かかりつけ医を変更した方もおられる。その他の利用者は施設併設の診療所により月2回の往診を受けている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>建物内にある協力医療機関の往診を個々に月2回受けている。状態により、随時の往診もあり、電話対応は24時間可能となっている。皮膚科や歯科も訪問診療してくれる。協力医療機関の看護師の訪問が週1回あり、利用者の健康管理をしてくれており、相談するとアドバイスがある。利用者の状態によっては、家族と相談して夜間も往診可能なかかりつけ医で診てもらっている。</p> | |
| 31 | | <p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>何かあった時は看護師に相談している。医療が必要な時はかかりつけ医に連絡し、往診してもらっている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>入退院時には、医療機関と密に連絡を取り合いながら、円滑に進むようにしている。</p> | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>入退院時には、医療機関と密に連絡を取り合いながら、円滑に進むようにしている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>早い段階から今後の意向をご家族と話し合いを行い、かかりつけ医を変更した方もおられる。本人の意向を伺う事が難しい場合もある。今後は定期的にご家族や可能であれば本人にどうありたいか伺う予定である。</p> | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>この1年間に一名の方の看取り支援をした。利用契約時には、ほとんどのご家族から「ここで最期まで」と意向があるが、終末期の対応について家族に意向を聞けていないケースもあるため、11月の運営推進会議時には、「終末期の医療について」アンケートを取り、話し合う場を設ける計画がある。</p> | |
| | | | (外部評価) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-------------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) | |
| | | | 全ての職員が応急手当や初期対応ができるかは疑問である。定期的な研修が必要である。 | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) | |
| | | | 避難訓練は年に2回行い、地域の方にも参加して頂いている。また毎日、朝の申し送り時に防災の手引きや防災マニュアルを用いて対応の仕方を話し合っている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 6月には、消防署の協力のもと火事想定避難訓練を運営推進会議と併せて行った。職員の防災意識を高めることを目的に、法人で作成したマニュアルに沿って毎朝申し送り時に「3分間研修」として、防災について勉強する取り組みを行っている。そのことがきっかけで職員から「備蓄係」を作って備蓄の管理をしてはどうかと提案があり、係を設置した。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) | |
| | | | 一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応を心掛けているが、時折、馴れ合いによる言葉かけをしてしまう事もある。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | おやつは、リクエストに応じて手作りしたり、買いに行く機会を作っている。編み物や掃除等、得意なことや好きなことを行う機会を作っている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) | |
| | | | 希望をお聞きしたり、言いづらい方は選択肢を与えて、答えやすいようにしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|---|
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) | 利用者の希望に沿って支援する事もあるが、その時の状況で職員都合で動いてしまっている事が多い。 |
| | | | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) | 服を選んでもらったり、毎朝洗面所で身だしなみを整えている。 |
| | | | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) | 厨房から届いた食事を職員が配膳している。下膳はできる方にはしてもらっている。時折、お菓子作りを一緒に行っている。 |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 朝食は事業所で調理するが、昼・夕食は厨房で作った食事が容器で届き、職員が配膳している。主食は事業所で作っているが、利用者が食事一連の流れにかかわる機会はあまりない。朝食には、利用者の希望を反映することができるため、「ポテトサラダが食べたい」等の希望を採り入れている。 | グループホームの食事支援のあり方について話し合い、利用者主体の支援が実践できているか点検、再考する機会にしてほしい。又、食事を楽しむという観点から利用者の力を活かした支援、利用者の好みや習慣を踏まえた支援等、工夫できることはないだろうか。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) | 一人ひとりの状態に合わせて、食事の形態を変えて提供したりしている。また食事量が少なくなった方は、個別に記録に残したり、水分量も計測している。 |
| | | | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) | 全員毎食後、口腔ケアを行っている。 |
| | | | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | (自己評価) | |
| | | | 一人ひとりの排泄リズムを把握し、声掛けをしてトイレ誘導している。紙パンツから布パンツに換えた方もいる。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 排泄記録をもとにして支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | (自己評価) | |
| | | | 薬に頼ってしまっている事が多いが、牛乳を毎朝飲む事で下剤が不要になった方もいる。また水分摂取が少ない方には職員が意識して声掛けし、飲んで頂いている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) | |
| | | | 定期的に入浴できているが、その日の状況や職員の都合で入浴の声掛けをしている。拒否があれば、時間をおいたり、様子を見たりしている。本人の希望があり、夕食後に入った事もある。自分のお好きなシャンプーを使用されてる方もいる。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 個々に週2~3回入浴できるよう支援している。浴槽のまたぎが難しい利用者は、シャワー浴と足浴で対応している。利用者個々のこれまでの入浴の習慣や好みについて、情報収集に取り組んではどうだろうか。利用者個々が入浴を楽しむという観点から、支援に工夫を重ねてほしい。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | (自己評価) | |
| | | | その時の状況に応じて休んで頂いている。またその際、室温や生活リズムが崩れない程度の休息時間に気を付けている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) | |
| | | | 薬については、折をみて薬剤情報を見ながら確認しているが全ての把握はできていない。 | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) | |
| | | | 縫い物が得意な方にはできるように提供したり、歌がお好きな方にはCDを流して一緒に歌ったりしているが、一時的なもので、「利用者にとっての楽しみ作り」は職員一人ひとりをもっと意識する必要がある。 | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) | |
| | | | 墓参りに行きたい方には、家族にお伝えして家族と行かれた。希望により、買い物に出掛けたり、行事を企画したりしているが、その日の状況により希望にそえない場合もある。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (外部評価) | |
| | | | 計画を立てて花見やさつき展等に出かけている。「いろんなところに行きたい」と希望する方には、職員と一緒にゴミ捨てに行く等、外に出る機会を作っている。敷地内の系列小規模多機能事業所へ遊びに行ったり、重度の利用者については、職員で話し合い、気候のよい時期に近くのパン屋にプリンを食べに行くことを計画して支援した。 | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | |
| | | | お金は最低限の金額を持っておられる方もいる。 | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | |
| | | | 年賀状を送ったり、ご家族に電話したり交流できるように支援している。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>フロアは季節ごとに掲示物を変えたり、花を飾り、今の季節を感じて貰えるようにしている。トイレに暖房器具を置いたり、不要な物を処分して整理整頓を行ったりもした。</p> <p>(外部評価)</p> <p>建物の2階部分に位置する事業所で、広めのベランダでは、洗濯物干しやひなたぼっこ、花の手入れ等をして過ごしている。居間の扉や壁面には、職員と利用者で作った絵や立体的な季節の作品を飾っており、時々話題になっている。廊下でボーリングを楽しむこともある。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>狭い共用空間の中、離れた場所にソファを置いたり、所々に椅子を置いている。その時々で臨機応変に座席を移動しやすい環境を作っている。</p> | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>入居時にご自宅で使用されていた使いなれた物を持参下さるようにご家族に声掛けしている。居室には自宅で使われていたタンスや仏壇などを持参されている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者によっては冷蔵庫を持ち込んでいる方もいる。引き出しに「ズボン」「肌着」等と書いた紙を貼り、分かりやすいようにしているところもあった。又、家族来訪時に撮った集合写真を大きく伸ばし、続柄を書いているところもあった。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>トイレやお風呂には分かりやすいように表示している。脱衣所の段差には目に付くようにテープを貼っている。</p> | |